

まずは下図「CSRの考え方」をご覧ください。企業活動には社会的責任が伴いますから、それを果たさなくてはならない——これがCSRの基本的な考え方です。それを細かく見ると、図のようになります。

CSRが分かりにくい、という声を、しばしば耳にします。CSRは企業の社会的責任という意味の英語「Corporate Social Responsibility」の頭文字をとったものです。そのために、余計に「CSRって何?」という疑問が出てきてしまうのかも知れません。図に書いたように、企業にはさまざまな利害関係者がいます。顧客、取引先などの直接ビジネスに関係するところだけではありません。極端な言い方をすれば、社会全体が利害関係者なのです。ですから、企業活動のすべてが、実はCSRの対象となります。

「CSRは果たしている」というからCSRは果たしている」という考え方があります。確かに二面では大きな貢献をしていますが、もしその企業が、一方で不正を行っていたらどうでしょう? それでもCSRを果たしている企業と言えるでしょうか?

意外に誤解されているのが「奉仕活動」との混同です。例えば「うちはボランティア活動をやっているからCSRは果たしている」といっている方がいます。確かに、ボランティア活動は、社会に貢献する活動の一つです。しかし、CSRは「企業活動」そのものを指します。例えば、顧客満足度向上(情報公開など)、環境改善など、顧客満足度向上(情報公開など)など、企業活動を行う延長線上にあるものが多いと言えます。つまりCSRを果たすことは企業を良くすることでもあるのです。そしてその上に地域活動への参加などボランティア的な活動があるのです。こうした視点を忘れずに、ぜひ御社もCSRに取り組んでください。

いま、CSRが注目されています! 「企業の社会的責任」を考えましょう。

本誌昨年3月号で特集したCSR(企業の社会的責任)をご記憶でしょうか? 最近では新聞紙上などマスコミに説明なしで登場することも多くなりました。CSR委員会の提言を受けて本号から、CSRに取り組んでいる企業を紹介する連載がスタートします。ここでもう一度CSRについておさらいしてみましょう。

CSRの考え方

CSR(企業の社会的責任)

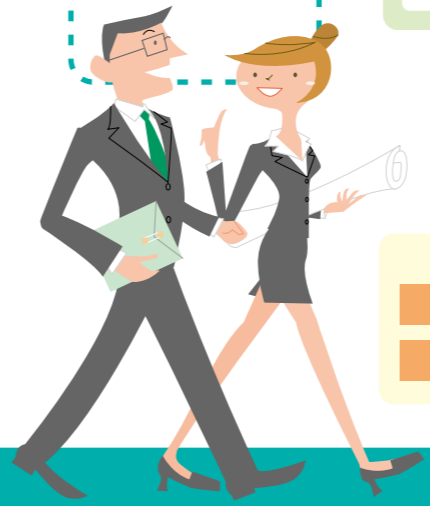
倫理責任	法的責任	経済的責任	貢献的責任	生産的責任
倫理とは人として守るべき道であり、法律で規制される以前に自らの言動を律するもの。	企業内の規則も含めて順守すること。法令などを前提として、倫理や道徳感を持つ。	企業不祥事が多く報道されているが、法令を定めた思想を踏まえ、倫理・道徳感をもって接する。	よき人材を育成すると同時に、よき社会をとともに作る。	生産に従事する者の行動、製品を利用する人の活用方法を勘案し、安心・安全である製品を造る。

CSRの遂行

信頼・協力

ステークホルダー(利害関係者)

社員	消費者	顧客	取引先	資金提供者
競争相手	周辺住民	関係団体・企業	行政	



CSRで輝く会社

第1回 仲田総業(株)



仲田俊夫社長

掃除しておくこと——同社では当たり前に行っていることですが、これも立派なCSRだと仲田専務は言います。

その他、同社では、ふだんから自社周辺のゴミ拾いなどを行っています。また教育機関からの求めに応じ、子どもたちに、作業現場を見学してもらう「環境実習」への協力も行っています。

また、同社の収集車はすべて一般貨物自動車運送事業の許可(いわゆる青ナンバー)を取得しています。本来、業務用の運搬車両ですから青ナンバーは当然です。しかし廃棄物収集運搬業の許可を取得するにあたっては、青ナンバーを必要条件としていないため、白ナンバーで営業している業者も少なくありません。同社では「すべての法令を順守することが社会的責任」という考え方で、青ナンバーを取得しています。

「決して派手ではありませんが、地道な積み上げが大切です。CSRは自然体でないと続きませんよ」笑顔で話す仲田社長が印象的でした。



仲田総業(株)本社

仲田総業株式会社

代表取締役 仲田俊夫
 ◎業種 サービス業
 ◎設立 1968年11月25日
 ISO9001・ISO14001・ISO27001 認証取得
 宇都宮商工会議所
 「環境にやさしい優良企業」認定
 〒321-0933
 栃木県宇都宮市築瀬町2520-4
 ☎635-2151(代)
<http://www.nakada.tv/>

宇都宮商工会議所のCSR委員会で委員長を務めていた仲田俊夫社長は「CSRは特別なことではない」が持論です。企業活動をきちんと行うことで、自然にCSRを果たすことができる、と考へておられます。

専務取締役の仲田陽介氏も、その言葉に深くうなずきます。「CSRと二口に言いますが、私はC(Company)は不要だと思っています。企業だからやらなければいけないのではなく、それ以前に、社会の一員として果たすべきものだと考えます」

例えば、と仲田専務は例を挙げます。ごみを収集したあとで、収集ステーション周辺を

「アメリカでは、CSRという

そんな仲田社長の考えるCSRとは

【写真/上】ごみ収集車に絵を描くことで、親近感がわきます。

【写真/下】機密文書の出張処理サービスも好評

